



「単価引き上げのチャンスを活かそう」と訴える森谷部会長（1月26日東京・品川区内）

第19回定期総会 25組織38名参加

全国ダンプ

経済闘争に決起し 組織拡大で前進を

全国ダンプ部会は、1月26日（日）～27日（月）に東京都内で第19回定期総会を開き、25組織から38名が参加しました。開会あいさつで森谷稔部会長は、「昨年は設計労務単価が15%以上引き上げられました。追い風の情勢を活かせる最大のチャンスです。全国各地で単価引き上げを実現しよう」と訴えました。

生コン工場に出入りしている仲間を集め組合を結成した。マスコミも活用し、県民世論を作り出し、建設・生コン業界を動かして単価改善を必ず実現したい（沖縄）、「東北・宮城に組合員を送り出し、復旧工事で就労している。現地で会議を開催し、情報交換や労働条件の改善を追求している（静岡）、「公共工事が沢山発注されており、必要なダンプが集まらない状況が続いている。一方で通常単価は3万8千円程度まで引き上げられた（福島）、「震災ボランティア

アを継続している。東日本大震災を風化させない為に頑張りたい（北陸）、「全国交流集会に参加した仲間が刺激を受け、組織拡大で奮闘している（広島）、「ネクスコ発注工事の現場で要請や宣伝行動をくり返しおこない4万円以上の単価で就労を実現した（兵庫）など、2日間で延べ26名が発言しました。

その他には、「税金申告の改正点及び記帳義務化」について山内健人副部会長が報告しました。また昨年10月、消費税増税の実施に合わせて成立した「消費税の適正な転嫁対策」について、公正取引委員会から講師を招いて学習会をおこないました。議案及び決算報告・予算案を採択し、新役員体制を選出した後に、団結がんばろうで総会を終えました。

役員体制

部会長Ⅱ森谷稔（福島）、副部会長Ⅱ山内健人（栃木）、事務局Ⅱ廣瀬肇（中央）、事務局次長Ⅱ高橋英晴（神奈川）

全国幹事Ⅱ榎山博幸（札幌）、田中喜三男（秋田）、高橋立顯（静岡）、立野正俊（北陸）、前村和弘（関西）、丸岡昭（徳島）、浅川芳高（西九州）、東江勇（沖縄）、会計監査Ⅱ横坂英治（群馬）



佐賀生公連の仲間と共に現場事務所で業者から聞き取りを実施（1月29日佐賀県内）

現場調査 現場アンケート実施 8割が賃金変わらず

群馬ダンプ

群馬ダンプ支部は、県本部や建築支部と共に2月4日に公共工事設計労務単価引上げ分が現場労働者の賃金に反映されているかどうか、前橋市内の元総社第二県営住宅工事現場で働く労働者に対しアンケート調査を実施しました。結果は予想通り8割が「2年前と賃金変わらない。下がった」と回答しました。まだ1カ所だけの調査ですが、設計労務単価の引上げが、労働者の賃金にほとんど反映されていない実態が浮き彫りとなりました。引き続き実態調査に取り組み発注者や元請に賃金引き上げを要請していきます。

「現場アンケート実施 8割が賃金変わらず」

「現場アンケート実施 8割が賃金変わらず」

「現場アンケート実施 8割が賃金変わらず」

「現場アンケート実施 8割が賃金変わらず」

「現場アンケート実施 8割が賃金変わらず」

「現場アンケート実施 8割が賃金変わらず」

国・県発注工事で現場実態調査
西九州ダンプ
西九州ダンプ支部は1月29日、国交省の「武雄河川、佐



建設労働者の賃金上げろ、消費税増税をやめろとアピール（2月6日東京都内）

建設労働者の賃金上げろ
消費税増税を中止しろ
建設共闘集会

「中小建設業者の経営を守れ！建設関連労働者の大幅賃上げを求め大集会」が開かれ、建設労働組合から3千人が集まり、都内をデモ行進し、「建設労働者の賃金を上げろ、ゼネコンは下請いじめをやめろ、消費税増税をやめろ」などをアピールしました。

集会では全建総連都連の伊東昇委員長が主催者あいさつし「建設産業は低賃金の為、若者が入ってこない。春闘を闘い、希望の持てる業界にしよう」と訴えました。建交からは、全国セメント・生コン部会の代表者が生コン業界の実態と改善に向けた運動について紹介しました。その他、日本共産党の穀田恵二衆院議員や各政党から連帯のあいさつを受け、神奈川県連と国土交通労組の各代表が決意表明をおこないました。